

臼杵市 施策評価シート (令和元年度)			評価 担当者	課名 学校教育課	氏名 後藤 徳一	内線 3110
コード	V-12-27	施策名	基礎学力の定着と向上及び環境の整備			
施策の 方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる					
まちづく りの 方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)					
施策の 目的	学校と家庭・地域とが、心の通い合う交流を通して「生きる力」をはぐくむ教育を推進することで、子どもたちが、ふるさと臼杵に誇りと愛着・希望を持ち、誠実に・たくましく育つための「学び」を目指すことを目的とします。					
施策の 内容	各学校および臼杵市教育研究協議会での授業研究を充実させ、互いに授業力を高めていこうとする意識を醸成します。また、子どもたちの学習理解を深めるためにICTの活用を積極的に行い、わかりやすい授業実践を促します。					

＜指標＞

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	臼杵市学力定着状況調査で全教科で偏差値50を超えた学校の割合	偏差値50を超えた学校(小学4～6年、中学1～2年)	目標		20.0	40.0	60.0	100.0	100.0
			実績	10.00	57.9	68.4	100.0	88.9	100.0
			達成率	％	289.5%	171.0%	166.7%	88.9%	100.0%
	平日に1日1時間以上、家庭などで学習する小学6年生の割合	全国学力・学習状況調査(小学校6年生対象)	目標		60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
			実績	59.0	63.4	62.0	69.8	74.0	61.2
			達成率	％	105.7%	95.4%	99.7%	98.7%	76.5%
	平日に1日2時間以上、家庭などで学習する中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査(中学校3年生対象)	目標		52.0	55.0	60.0	60.0	70.0
			実績	50.0	41.5	42.0	52.9	39.0	35.7
			達成率	％	79.8%	76.4%	88.2%	65.0%	51.0%
	1日1時間以上、ゲームをする児童生徒の割合	大分県学力定着状況調査(小学校5年生対象)	目標		50.0	47.0	45.0	45.0	40.0
			実績	53.0	56.2	58.0	53.8	53.0	30.1
			達成率	％	89.0%	81.0%	83.7%	84.9%	132.9%
	1日2時間以上、テレビなどを見る児童生徒の割合	大分県学力定着状況調査(中学校2年生対象)	目標		60.0	57.0	55.0	54.0	50.0
			実績	61.8	58.2	55.0	56.6	54.0	17.9
			達成率	％	103.1%	103.6%	97.2%	100.0%	279.3%
○	ICTを活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習を行った学校の割合	全国学力・学習状況調査	目標		50	60	70	80	90.0
			実績	－	53	63	75	100	100.0
			達成率	％	105.2%	105.0%	107.1%	125.0%	111.1%
			目標						
			実績						
			達成率	％					
指標の分析		平日の家庭での学習時間は、全国の数値と比較して、臼杵市の児童生徒は短い傾向が見られます。平日に長時間ゲームをする児童生徒の割合が全国と比較すると多いことから、下校後の時間の使い方についての指導や意識の改善・家庭学習の必要性和習慣化についての指導が必要といえます。ICTの整備に伴い、授業等での活用も進み、学力も確実に向上しています。今後も教職員の授業改善や学習環境の充実を更に進めていく必要があります。							

＜市民意識調査結果＞

市民意識調査 結果 (R1調査)	領域名	必要度	満足度	満足度
	強化領域	2.29	1.34	
市民意識調査 結果分析	・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。			
	・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、学力向上に対する市民の期待感の表れだと考えられます。			

＜次年度以降の課題＞

令和2年度以降 の課題	校長を中心とする学力向上プロジェクトの取り組みやICTを活用した授業改善、特別支援教育の充実や読書のまちづくりの継続した取り組みなどにより、小学校中学校共に学力テストの改善が見られ、学力向上は確実に進んでいると考えていますが、学校間格差が課題となっています。また、家庭でのテレビやゲーム等のメディアに触れる時間が長いなど、家庭での学習習慣の定着も喫緊の課題といえます。肥満傾向出現率も高く、体力についての課題もあることから、生活習慣の改善に対する家庭との連携が必要です。幼児教育や家庭教育の充実とあわせて、21世紀を生きる子どもたちの育成のための学力向上への取り組みが必要です。
----------------	---

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み			
1	市教育研究協議会補助金	学校教育課		2,499	2,499	2,499	重点継続		
2	ICT活用教育推進事業	学校教育課		9,002	25,314	36,300	重点継続	○	
3	小中一体教育推進事業	学校教育課		1,410	996	890	重点継続	○	V-12-28
4	学力向上対策事業費	学校教育課		30,256	24,345	15,716	重点継続	○	
5						-			
6									
7									
8									
9									
10									
合計				43,167	53,154	55,405			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	幼保小中一体教育のさらなる深化と発展により、15歳の春を迎える子どもたちをつながりをもって育てていく必要があります。大量退職や大量採用時代を迎えていますが、芯の通った学校組織の下で、教職員の授業力向上を図り、21世紀を生き抜く子どもたちの育成におな一層の取り組みが必要です。学力向上とともに体力向上にも力を入れることが重要であり、食育や子どもの頃からの生活習慣の見直しなど、健康づくりへの取り組みの強化も必要です。	課長評価
概ね順調		最重点施策であり、来年度強化する

＜施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）＞

進捗状況			内部評価
-			-

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント		外部評価
		-

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

--